

# 光星 準優勝



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社  
(C)東奥日報社 2012

インターネット  
号外

購読のお問い合わせは  
東奥日報社読者局

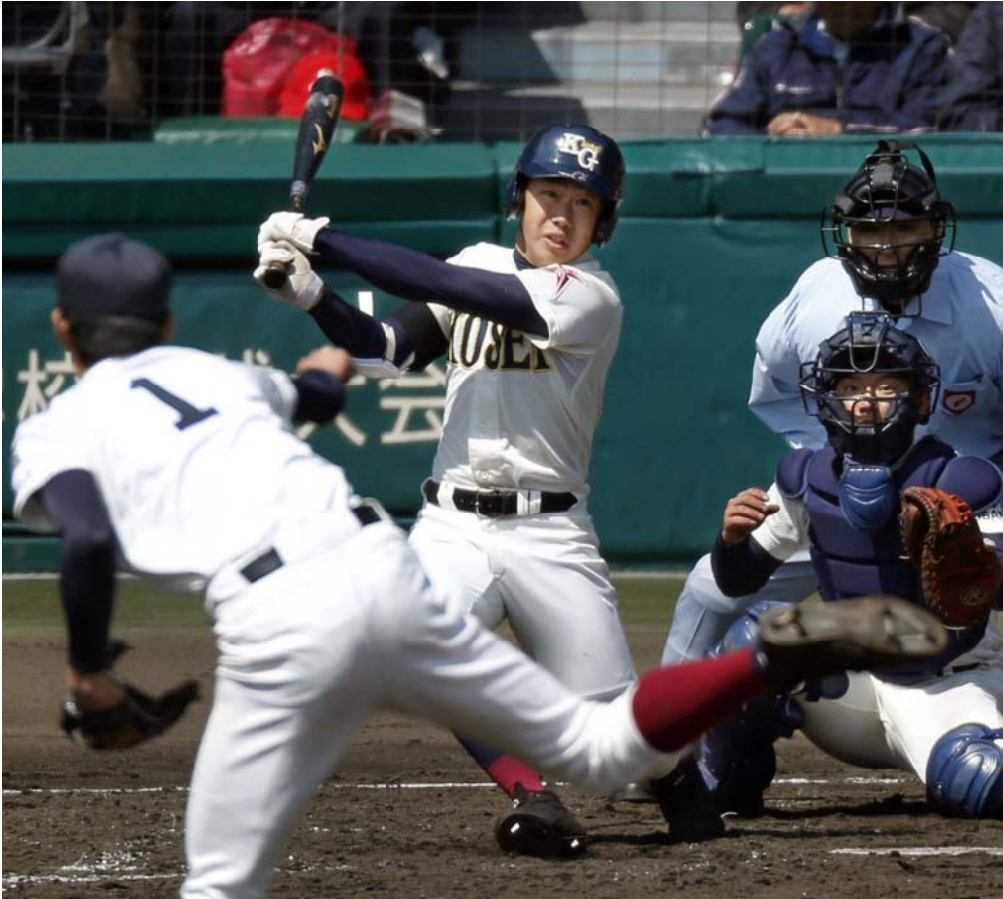


0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキユー

## センバツ 大阪桐蔭に3-7



【光星学院―大阪桐蔭】3回表光星学院無死二塁、武田が中前適時打を放つ。投手藤浪、捕手森Ⅱ甲子園

▽決勝

|      |     |     |     |     |     |    |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 光星   | 002 | 010 | 010 | 000 | 11X | 73 |
| 大阪桐蔭 | 203 | 000 | 000 | 11X |     |    |

(光)城間、金沢―田村

(大)藤浪―森

▽本塁打 小池(大) ▽三塁打 安井(大)

▽二塁打 田村、北條2(光) 白水、水谷、小池(大)

第84回選抜高校野球大会最終日は4日、兵庫県西宮市の甲子園球場で決勝を行い、本県の光星学院が春夏通じて県勢初、東北勢初の甲子園優勝をかけて大阪桐蔭(大阪)と対戦したが、3-7で敗れ準優勝に終わった。光星学院は昨夏に続いて、全国の頂点を目前に涙をのんだ。

光星学院は城間が先発。

初回、2死一塁から左中間スタンドへの2点本塁打を許し先制されたが、

三回の攻撃、先頭の3番田村が左中間への二塁打で出塁、続く4番北條、5番武田の2連打で同点に。しかし直後の守りで、城間が長短3安打を浴びるなどし降板。マウンドを託された主戦金沢も力投したが、終盤になるにつれて制球力を欠いた。味方打線は六回以降沈黙し、金沢を援護できなかつた。

詳細は朝刊で